

平成18年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)[米国会計基準] 平成17年7月28日

上場会社名 オムロン株式会社

コード番号 6645

(URL <http://www.omron.co.jp/>)

代表者 役職名 取締役社長

氏名 作田 久 男

問合せ先責任者 役職名 経営企画室 経理部長

氏名 春田 正 輝

上場取引所: 東・大・名

本社所在都道府県: 京 都 府

TEL(075)344-7070

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有 引当金等の計上基準に一部簡便的な方法を採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有 (所在地別セグメント情報のセグメント区分の変更)

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 (連結:新規5社、除外1社 持分法:新規1社、除外0社)

### 2. 平成18年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成17年4月1日~平成17年6月30日)

注記: 第1四半期財務・業績の概況および添付資料の金額は百万円未満を四捨五入しています。

#### (1) 経営成績(連結)の進捗状況

	売上高		営業利益		税引前純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第1四半期	138,474	6.4	9,099	40.2	8,576	43.1
17年3月期第1四半期	147,930	10.1	15,206	53.8	15,084	51.3
(参考)17年3月期	608,588		56,111		52,548	

	四半期(当期)純利益		基本的1株当たり 四半期(当期)純利益		希薄化後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円 銭		円 銭	
18年3月期第1四半期	5,147	46.4	21 63		21 62	
17年3月期第1四半期	9,605	58.3	40 15		38 55	
(参考)17年3月期	30,176		126 52		124 75	

(注) 売上高、営業利益、税引前純利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率

#### (2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	570,334	310,408	54.4	1,304 15
17年3月期第1四半期	596,041	291,443	48.9	1,218 01
(参考)17年3月期	585,429	305,810	52.2	1,284 81

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第1四半期	8,073	11,560	3,155	70,175
17年3月期第1四半期	10,689	5,379	3,528	96,962
(参考)17年3月期	61,076	36,050	40,684	80,619

### 3. 平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日~平成18年3月31日)

中間期、通期とも平成17年4月27日に公表した予想数値を変更しておりません。

	予想売上高	予想税引前純利益	予想当期純利益	基本的1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	285,000	30,000	17,000	71 42
通期	625,000	63,000	36,000	151 25

上記連結業績予想の前提条件及びご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の5ページをご参照下さい。

(添付資料)

## 平成18年3月期第1四半期 連結業績概要

(単位：百万円)

	平成18年3月期第1四半期	平成17年3月期第1四半期	前年同期比
売上高	138,474	147,930	93.6%
営業利益 (率)	9,099 (6.6%)	15,206 (10.3%)	59.8% ( 3.7P)
税引前純利益 (率)	8,576 (6.2%)	15,084 (10.2%)	56.9% ( 4.0P)
四半期純利益	5,147	9,605	53.6%
基本的1株当たり 四半期純利益	21円63銭	40円15銭	18円52銭

(注) 1. 四半期業績数値については、監査法人によるレビューを受けておりません。

2. 当社の連結財務諸表は米国会計基準に基づいて作成しております。

3. 連結子会社数は146社、持分法適用関連会社数は18社です。

(添付資料)

## 1. 経営成績及び財政状況

### 全般的概況

第1四半期(平成17年4月～6月)の経済情勢を概観しますと、世界経済は、原油価格の高止まりやIT・デジタル関連製品の在庫調整局面入りなどにより、北米・欧州においては個人消費や設備投資の伸びが鈍化し、中華圏・東南アジアにおいては中国や韓国、台湾を中心として生産が減速するなど、世界全般として景気の減速傾向が続きました。また、わが国経済もこれまで景気を牽引してきた企業の輸出や設備投資が伸び悩み、景気は減速傾向で推移しました。

このような経済環境のもと、当第1四半期における当社グループの売上高は、前年10月にATM(現金自動預払機)等の情報機器事業を持分法適用関連会社へ承継したことが大きく影響し、1,384億74百万円(前年同期比6.4%減)と前年同期を下回りました。しかしながら、国内外におけるIT・デジタル関連向け業務・民生用機器の伸び悩みはあるものの、当社グループの主力であるFA用制御機器および車載電装品などの売上が順調に推移した結果、当第1四半期の売上高は、当該承継した情報機器事業を除いた前年同期売上高を上回る結果となりました。利益面においては、将来の成長のための積極的な投資を行う一方で、不断の構造改革として収益構造の実現に向けた永続的な効率化を進めてまいりましたが、当該情報機器事業の承継による売上高の減少と販管費および研究開発費の増加により、営業利益は90億99百万円(前年同期比40.2%減)、税引前純利益は85億76百万円(前年同期比43.1%減)、四半期純利益は51億47百万円(前年同期比46.4%減)といずれも前年同期を下回りました。

### セグメント別の状況

#### インダストリアルオートメーションビジネス

国内においては、品質や安全性の向上に対する投資は底堅く、成長戦略事業と位置付けるセーフティ事業や品質ソリューション事業などが着実に売上を伸ばしました。しかしながら、調整局面にある半導体業界やデジタル家電関連業界向けの既存商品の売上が伸び悩み、前年同期を下回る水準で推移しました。

海外においては、北米では自動車業界向けを中心に、欧州ではインバータやサーボモータなどが好調に売上を伸ばし、それぞれ堅調に推移しました。中華圏においても、販売チャネルの整備などの営業力強化や生産力の強化に向けた投資を積極的に行い堅調に推移しました。

以上より、当セグメント合計の当第1四半期における売上高は、646億42百万円(前年同期比1.0%増)となりました。

#### エレクトロニクスコンポーネンツビジネス

国内においては、空調市場の低迷やパチスロ業界での新規則機の認可遅れに伴う客先の生産調整継続などにより、売上は前年同期を下回りました。海外においては、欧州でテレコム需要の冷え込みが続くシグナルリレーの売上が落ち込んだほか、中華圏向けバックライト事業が競合激化や客先の在庫調整などにより大きく売上減となり、それぞれ前年同期

(添付資料)

を下回るなど、全般として低調に推移しました。

以上より、当セグメント合計の当第1四半期における売上高は、225億89百万円(前年同期比9.0%減)となりました。

### **オートモーティブエレクトロニックコンポーネンツビジネス**

国ごとに増減はあるものの、世界全体の自動車販売台数は安定した成長をみせており、当セグメントの売上も順調に推移しております。当第1四半期においては、米国、欧州、日本とも前年同期を上回る売上となったほか、韓国での売上が大幅に伸びました。

当セグメントの当第1四半期の売上高は、174億74百万円(前年同期比17.2%増)となりました。

### **ソーシャルシステムズビジネス**

駅務・決済システム事業では、前年の新紙幣の発行に伴う券売機などの更新・改造需要の反動による売上の減少があるものの、偽造防止対策としてのICカード対応決済機器の需要増などにより好調に推移しました。また、セキュリティソリューション事業でも、セキュリティ関連システムパッケージを中心に好調に売上を伸ばしました。

ただし、前年同期には共同新設分割で設立した持分法適用関連会社へ承継したATM(現金自動預払機)等の情報機器事業の売上が含まれていることもあり、当セグメント合計の当第1四半期における売上高は、155億79百万円(前年同期比41.2%減)となりました。

### **ヘルスケアビジネス**

国内では、電子血圧計や体重体組成計などが引き続き堅調に推移しました。海外では、北米において、主力の電子血圧計市場の伸び率の鈍化もあり前年同期を下回る売上となりましたが、欧州においては電子血圧計の需要が堅調に推移しました。また、中華圏および東南アジアでは、主力商品の電子血圧計やネブライザが、中国において競争激化により前年同期を下回る売上となった一方で、東南アジアでは売上拡大が継続しました。

以上より、当セグメントの当第1四半期の売上高は、123億96百万円(前年同期比0.2%増)となりました。

### **その他**

その他のセグメントは、主として事業開発本部が新規事業の探索育成と社内カンパニーに属さない事業の育成・強化を担当する領域です。

既存事業では、コンピュータ周辺機器事業が競合激化による市場価格の低下が継続するものの法人向け需要を中心に堅調に推移しました。また、エンタテインメント事業は、業務用ゲーム機器が競合激化などで厳しい状況が続く一方で、新規領域であるモバイルコンテンツ事業が好調に推移しました。新規成長テーマでは、RFID(レイディオ・フリークエンシー・アイデンティフィケーション)などが堅調に推移しました。

当セグメントの当第1四半期の売上高は、57億94百万円(前年同期比8.2%増)となりました。

(添付資料)

### 財政状況

総資産は前期末に比べ 150 億 95 百万円減少して、5,703 億 34 百万円となりました。また、株主資本は前期末に比べ 45 億 98 百万円増加し、3,104 億 8 百万円となりました。この結果、株主資本比率は前期末の 52.2%から 54.4%になりました。

キャッシュ・フローの状況については、営業キャッシュ・フローが前年同期に比べ、四半期純利益の減少や税金納付の増加などにより、80 億 73 百万円の収入(前年同期比 26 億 16 百万円の収入減)となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と同様に将来に向けた投資を行ったことに加え、事業の買収により、115 億 60 百万円の支出(前年同期比 61 億 81 百万円の支出増)となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払いにより、31 億 55 百万円の支出(前年同期比 3 億 73 百万円の支出減)となりました。

以上より、現金及び現金同等物の当第 1 四半期末残高は、前期末に比べ 104 億 44 百万円減少し、701 億 75 百万円となりました。

### 当期の業績見通し

第 2 四半期以降の経済環境の見通しは、原油価格の高止まりなど不透明な要素は依然残るものの、IT・デジタル関連製品の在庫調整局面が概ね一巡しつつあることや、個人消費や企業の設備投資の堅調な推移が期待できることなどから、全般としては、回復傾向で推移していくものと想定されます。

このような中、当社グループの売上高は、当第 1 四半期においては前年同期を下回ったものの当初の予想通り推移しており、第 2 四半期以降も引き続き当初の予想通り推移する見込みです。利益についても、成長に向けた投資に積極的に取り組む一方で、引き続き不断の構造改革を推進し、「強靱な収益構造への前進」に努めることにより、当初の予想通り推移する見込みです。

中間期および通期の業績見通しにつきましては、平成 17 年 4 月 27 日発表の通りとし変更は行いません。なお、中間期および通期業績見通しで前提としております為替レートは、第 2 四半期は、1 米ドル 110 円、1 ユーロ 135 円、第 3 四半期以降は、1 米ドル 100 円、1 ユーロ 130 円です。

業績予想等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なることがあります。実際の業績等に影響を与える重要な要因には、( ) 当社の事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、( ) 当社製品・サービスに対する需要動向、( ) 新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、( ) 資金調達環境の大幅な変動、( ) 他社との提携・協力関係、( ) 為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

(添付資料)

## 2. 四半期連結財務諸表等

### 比較連結損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	18年3月期第1四半期 自平成17年4月1日 至平成17年6月30日		17年3月期第1四半期 自平成16年4月1日 至平成16年6月30日		増 減 金 額
	金 額	百分比	金 額	百分比	
売 上 高	138,474	100.0	147,930	100.0	9,456
売 上 原 価	82,538	59.6	86,821	58.7	4,283
売 上 総 利 益	55,936	40.4	61,109	41.3	5,173
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	35,312	25.5	34,802	23.5	510
試 験 研 究 開 発 費	11,525	8.3	11,101	7.5	424
営 業 利 益	9,099	6.6	15,206	10.3	6,107
為 替 差 損 ( 益 ) - 純 額 -	285	0.2	335	0.2	620
そ の 他 費 用 - 純 額 -	238	0.2	457	0.3	219
税 引 前 純 利 益	8,576	6.2	15,084	10.2	6,508
法 人 税 等	3,446	2.5	5,431	3.7	1,985
少 数 株 主 損 益	17	0.0	48	0.0	65
四 半 期 純 利 益	5,147	3.7	9,605	6.5	4,458

四半期純利益にその他の包括利益を加えた包括利益は、以下のとおりです。

18年3月期第1四半期 4,606百万円      17年3月期第1四半期 16,626百万円

なお、その他の包括利益には、為替換算調整額、最小退職年金債務調整額、売却可能有価証券未実現損益、デリバティブ純損益の増減額が含まれます。

(添付資料)

## 比較連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	18年3月期第1四半期 (平成17年6月30日現在)		17年3月期第1四半期 (平成16年6月30日現在)		17年3月期 (平成17年3月31日現在)		増減金額 (18年3月期第1四半期 - 17年3月期)
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
(資産の部)		%		%		%	
流動資産	277,915	48.8	316,264	53.1	295,940	50.6	18,025
現金及び現金同等物	70,175		96,962		80,619		10,444
受取手形及び売掛金	106,891		113,390		121,652		14,761
たな卸資産	70,311		79,238		68,585		1,726
その他の流動資産	30,538		26,674		25,084		5,454
有形固定資産	155,291	27.2	147,775	24.8	154,689	26.4	602
投資その他の資産	137,128	24.0	132,002	22.1	134,800	23.0	2,328
関連会社に対する 投資及び貸付金	16,201		2,505		17,343		1,142
投資有価証券	48,573		56,074		49,764		1,191
その他の資産	72,354		73,423		67,693		4,661
資産合計	570,334	100.0	596,041	100.0	585,429	100.0	15,095
(負債の部)		%		%		%	
流動負債	146,429	25.7	172,607	29.0	162,988	27.8	16,559
短期借入金及び1年以内に 返済予定の長期債務	24,485		44,983		22,927		1,558
支払手形及び 買掛金・未払金	66,325		75,422		75,866		9,541
その他の流動負債	55,619		52,202		64,195		8,576
長期債務	2,120	0.4	11,390	1.9	1,832	0.3	288
その他の固定負債	109,893	19.2	119,050	19.9	113,250	19.3	3,357
少数株主持分	1,484	0.3	1,551	0.3	1,549	0.4	65
負債の部合計	259,926	45.6	304,598	51.1	279,619	47.8	19,693
(資本の部)		%		%		%	
資本金	64,100	11.2	64,099	10.8	64,100	10.9	-
資本剰余金	98,726	17.3	98,723	16.6	98,726	16.9	0
利益準備金	7,854	1.4	7,566	1.3	7,649	1.3	205
その他の剰余金	204,492	35.9	184,775	31.0	199,551	34.1	4,941
その他の包括利益累計額	41,550	7.3	43,538	7.4	41,009	7.0	541
自己株式	23,214	4.1	20,182	3.4	23,207	4.0	7
資本の部合計	310,408	54.4	291,443	48.9	305,810	52.2	4,598
負債・資本合計	570,334	100.0	596,041	100.0	585,429	100.0	15,095

(添付資料)

## 比較連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		17年 3 月期第 1 四半期		増減金額
	18年 3 月期第 1 四半期 自平成17年 4 月 1 日 至平成17年 6 月30日	17年 3 月期第 1 四半期 自平成16年 4 月 1 日 至平成16年 6 月30日			
営業活動によるキャッシュ・フロー					
1. 四 半 期 純 利 益		5,147		9,605	4,458
2. 営業活動によるキャッシュ・フローと 四 半 期 純 利 益 の 調 整					
(1) 減 価 償 却 費	7,461		7,192		
(2) 投資有価証券及びその他の資産の減損	201		18		
(3) 受取手形及び売掛金の減少	16,849		10,790		
(4) た な 卸 資 産 の 増 加	416		7,714		
(5) 支払手形及び買掛金・未払金の減少	10,643		6,673		
(6) そ の 他 ( 純 額 )	10,526	2,926	2,529	1,084	1,842
営業活動によるキャッシュ・フロー		8,073		10,689	2,616
投資活動によるキャッシュ・フロー					
1. 資 本 的 支 出		5,906		5,738	168
2. 事業の売却及び買収(純額)		8,451		115	8,566
3. そ の 他 ( 純 額 )		2,797		244	2,553
投資活動によるキャッシュ・フロー		11,560		5,379	6,181
財務活動によるキャッシュ・フロー					
1. 有利子負債の増加(減少)		213		358	571
2. 支 払 配 当 金		3,361		3,243	118
3. 自 己 株 式 の 取 得		8		12	4
4. 自 己 株 式 の 処 分		1		-	1
5. ストックオプションの行使		-		85	85
財務活動によるキャッシュ・フロー		3,155		3,528	373
換算レート変動の影響		3,802		121	3,923
現金及び現金同等物の増減額		10,444		1,903	12,347
期首現金及び現金同等物残高		80,619		95,059	14,440
四半期末現金及び現金同等物残高		70,175		96,962	26,787

(添付資料)

### 3. セグメント情報

#### 1. 事業の種類別セグメント情報

18年3月期第1四半期(自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)

(単位:百万円)

	インターストリアル オートメーション ビジネス	エレクトロニクス コンポーネンツ ビジネス	オートモティブ エレクトロニック コンポーネンツ ビジネス	ソーシャル システムズ ビジネス	ヘルスケア ビジネス	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高および営業損益									
(1)外部顧客に対する売上高	64,642	22,589	17,474	15,579	12,396	5,794	138,474	-	138,474
(2)セグメント間の内部売上高	2,210	4,976	629	2,564	18	9,144	19,541	(19,541)	-
計	66,852	27,565	18,103	18,143	12,414	14,938	158,015	(19,541)	138,474
営業費用	56,153	25,262	18,036	20,002	10,867	14,381	144,701	(15,326)	129,375
営業利益	10,699	2,303	67	(1,859)	1,547	557	13,314	(4,215)	9,099

17年3月期第1四半期(自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)

(単位:百万円)

	インターストリアル オートメーション ビジネス	エレクトロニクス コンポーネンツ ビジネス	オートモティブ エレクトロニック コンポーネンツ ビジネス	ソーシャル システムズ ビジネス	ヘルスケア ビジネス	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高および営業損益									
(1)外部顧客に対する売上高	63,979	24,834	14,913	26,474	12,376	5,354	147,930	-	147,930
(2)セグメント間の内部売上高	1,469	6,048	753	2,895	37	9,966	21,168	(21,168)	-
計	65,448	30,882	15,666	29,369	12,413	15,320	169,098	(21,168)	147,930
営業費用	52,727	26,584	15,944	29,246	10,090	14,784	149,375	(16,651)	132,724
営業利益	12,721	4,298	(278)	123	2,323	536	19,723	(4,517)	15,206

- (注) 1. 18年3月期第1四半期の「ソーシャルシステムズビジネス」には、ソーシャルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネスカンパニーなどが含まれます。
2. 17年3月期第1四半期の「ソーシャルシステムズビジネス」には、ソーシャルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネスカンパニーおよびファイナンシャル・システムズ・ビジネスカンパニーなどが含まれます。
3. 「その他」には、事業開発本部およびその他の部門が含まれます。

#### 2. 所在地別セグメント情報

18年3月期第1四半期(自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)

(単位:百万円)

	国内	北米	欧州	中華圏	東南アジア他	計	消去又は 全社	連結
売上高および営業損益								
(1)外部顧客に対する売上高	80,407	16,296	24,124	9,308	8,339	138,474	-	138,474
(2)セグメント間の内部売上高	20,529	40	242	6,869	1,893	29,573	(29,573)	-
計	100,936	16,336	24,366	16,177	10,232	168,047	(29,573)	138,474
営業費用	91,528	16,094	22,332	15,887	9,343	155,184	(25,809)	129,375
営業利益	9,408	242	2,034	290	889	12,863	(3,764)	9,099

17年3月期第1四半期(自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)

(単位:百万円)

	国内	北米	欧州	中華圏	東南アジア他	計	消去又は 全社	連結
売上高および営業損益								
(1)外部顧客に対する売上高	92,217	16,100	22,772	9,633	7,208	147,930	-	147,930
(2)セグメント間の内部売上高	21,429	172	131	7,192	5,426	34,350	(34,350)	-
計	113,646	16,272	22,903	16,825	12,634	182,280	(34,350)	147,930
営業費用	100,313	15,395	20,633	15,574	11,619	163,534	(30,810)	132,724
営業利益	13,333	877	2,270	1,251	1,015	18,746	(3,540)	15,206

- (注) 従来、「アジア他」としていたセグメントについて、17年4月より「中華圏」と「東南アジア他」に区分したため、17年3月期第1四半期は新区分に組替えて表示しています。なお、「中華圏」には中国、香港および台湾が含まれます。

(添付資料)

## 4. 販売の状況

比較連結セグメント別売上高明細表

(単位：百万円)

セグメント別	18年3月期第1四半期 自平成17年4月1日 至平成17年6月30日		17年3月期第1四半期 自平成16年4月1日 至平成16年6月30日		前年同期比
	金額	構成比	金額	構成比	
		%		%	%
インターストリアルオートメーションビジネス	64,642	46.7	63,979	43.2	101.0
エレクトロニクスコンポーネントビジネス	22,589	16.3	24,834	16.8	91.0
オートモティブエレクトロニクスコンポーネントビジネス	17,474	12.6	14,913	10.1	117.2
ソーシャルシステムズビジネス	15,579	11.2	26,474	17.9	58.8 (*)
ヘルスケアビジネス	12,396	9.0	12,376	8.4	100.2
その他	5,794	4.2	5,354	3.6	108.2
合計	138,474	100.0	147,930	100.0	93.6

(注) 1. 17年3月期第1四半期のソーシャルシステムズビジネスには、ソーシャルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネスカンパニーおよびファイナンシャル・システムズ・ビジネスカンパニーなどが含まれます。

(注) 2. 18年3月期第1四半期のソーシャルシステムズビジネスには、ソーシャルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネスカンパニーなどが含まれます。

(\*) ソーシャルシステムズビジネスに属するATM(現金自動預払機)等の情報機器事業を平成16年10月1日に持分法適用関連会社に承継しました。